

JIS

壁紙

JIS A 6921 : 2014

(WACOA/JSA)

平成 26 年 7 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	内 山 和 哉	一般社団法人住宅生産団体連合会(積水ハウス株式会社)
	加 藤 信 介	東京大学
	橘 高 義 典	首都大学東京
	黒 木 勝 一	一般財団法人建材試験センター
	汐 川 孝	一般社団法人日本建設業連合会(株式会社大林組)
	棚 野 博 之	独立行政法人建築研究所
	永 島 潮	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	西 野 加奈子	建築・住宅国際機構
	服 部 幸 夫	断熱・保温規格協議会
	古 江 郁 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	松 村 収	独立行政法人住宅金融支援機構
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会(芝浦工業大学)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 51.4.1 改正：平成 26.7.22

官 報 公 示：平成 26.7.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本壁装協会

(〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-6 タクアカサカビル TEL 03-3403-6351)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会(部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：建築技術専門委員会(委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 品質	2
3.1 外観	2
3.2 性能	2
4 寸法	2
4.1 有効幅	2
4.2 有効長さ	2
5 材料	2
6 試験	2
6.1 試験の一般条件	2
6.2 試験片の採取方法	2
6.3 試験方法	3
7 検査	8
8 表示	8
9 添付文書	8
附属書 A (参考) 放散試験チャンバー法—壁紙の揮発性有機化合物 (VOC), ホルムアルデヒド 及び他のカルボニル化合物放散測定	9
附属書 B (参考) 室内空間モデルにおける気中濃度増分値の算出	25
附属書 C (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	27
解 説	29

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本壁装協会（WACOA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 6921:2003** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 27 年 7 月 21 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 6921:2003** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

壁紙

Wallpaper and wallcoverings for decorative finish

序文

この規格は、1976年に制定され、その後5回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は2003年に行われたが、今回は試験方法等の技術的内容変更のため改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を附属書Cに示す。

1 適用範囲

この規格は、主に建築物の壁、天井などの内装仕上げとして張り付ける壁紙について規定する。

なお、ここでいう壁紙とは、紙、繊維、無機質材（金属はくを含む。）、プラスチック（塩化ビニル樹脂、エチレン酢酸ビニル共重合樹脂、アクリル樹脂など）及びそれらを組み合わせた壁装用の製品をいう。

この規格は、あらかじめ接着剤、粘着剤などを塗布した壁紙も適用できる。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 6922 壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤

JIS K 7362 プラスチック—アンダーグラス屋外暴露、直接屋外暴露又は実験室光源による暴露後の色変化及び特性変化の測定方法

JIS K 8001 試薬試験方法通則

JIS L 0805 汚染用グレースケール

JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS P 8113 紙及び板紙—引張特性の試験方法—第2部：定速伸張法

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

JIS Z 8721 色の表示方法—三属性による表示

JIS Z 8722 色の測定方法—反射及び透過物体色

日本農林規格（JAS）合板